

防衛医科大学校研修

12月22日（日）に防衛医科大学校研修を行いました。今回の研修は他大学の医学科に無い防衛医科大学校の魅力を講話や体験を通じて理解していく研修でした。

午前中は、加來教授が「感染症と危機管理」と題して感染症にどう向き合うべきか、研究の概要、様々な感染症の事例等についてわかりやすい話でした。次に病院救急部秋富教授が「自分と人の命を守る人材育成～災害現場で何がおきているか？～」と題して医療活動に従事したJR福知山線脱線事故や東日本大震災における現場の実態や各種教訓等についての話をお聞きしました。

体験喫食では、学生と懇談しながら食事をして学生生活等について話を聞くことができ、午後からは、防衛医科大学病院で勤務する医官に入校からこれまでの勤務について話を聞き、その後シミュレーション体験、外科手術時の際の縫合実技。実技では最初のうちは戸惑っていた学生達も直ぐにコツを掴んでいた様子でした。

今回の研修で参加者から、「講話がすごく良かった」「学生と話せて良かった」などの感想がありました。

今後もこのような、研修を実施していきたいと思えます。

